

## 基本方向2 皆が暮らしたい農村

### (1) [施策展開4] 農村コミュニティの維持・構築

#### ア 中山間地域等における農村コミュニティの維持・強化

##### 【めざす平成29年の姿】

- ◇高齢農業者や兼業農家等が、集落営農組織に参加するとともに、大型機械作業などの支援を受けつつ営農を継続し、地域で行う共同活動にも積極的に参加しています。
- ◇農村に暮らす多様な人々が参加し、地元で生産された農畜産物の直売や農産物加工品の生産・販売が盛んに行われています。
- ◇都市住民が農村に魅力を感じ、児童・生徒の修学旅行をはじめ様々な交流が生まれ始めています。
- ◇農家レストラン・直売所・観光農園等を介して都市住民と農業者の交流が深まり、都市住民と連携したコミュニティビジネスが生まれつつあります。

#### <施策の取組状況>

##### ○ 農業生産活動の継続

- 中山間地域農業直接支払事業により、1,062協定、9,222haの協定農用地において、集落の話し合いに基づき集落ぐるみでの農地法面の草刈りや水路・農道の維持・管理、景観作物の作付けなど、農村のコミュニティ活動を通じた持続的な生産と、農村の多面的な機能の増進に係る活動を支援しました。
- また、協定農用地の周辺林地の下草刈りや電気柵の設置等の活動を通して、シカやイノシシなどによる鳥獣被害に起因した耕作放棄地の発生防止を支援しました。



【集落住民による稲刈り】



【電気柵設置による鳥獣害対策】

- Facebook を活用するなど農業女子のネットワーク化を図り、共感し合う仲間との自主的な交流活動を促進しました。
- 県内の農業女子とサポーターが集うNAGANO農業女子会を開催し、仲間づくりを支援しました。
- 地域での農業女子による自主的なマルシェの開催やグループ化など新たな動きが始まりました。



【NAGANO農業女子発足記者会見】



【各地域での農業女子活動】

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・集落における農業生産活動等の支援：71 市町村 1,062 協定 9,222ha
- ・市町村との協働による協定農用地の確認：74 件
- ・市町村との意見交換会の開催：54 市町村
- ・協定代表者との意見交換会の開催：86 協定
- ・Facebook 登録者数（NAGANO 農業女子とその活動を応援したいいただける者）：269 人

○ ふれあい・やすらぎの場づくり

- 長野県学習旅行誘致推進協議会が行う誘致活動を支援し、県外及び海外の中学校が実施する学習旅行の県内誘致を図りました。
- JA が主体となって観光施設に併設する大型農産物直売所の整備を支援し、農業者が直接都市住民と触れ合う交流活動など農山村地域の活性化を図りました。
- そば打ちや豆腐づくりなどの農産物加工体験を通じた都市住民との交流促進を支援しました。



【安曇野市の大型直売施設の整備】

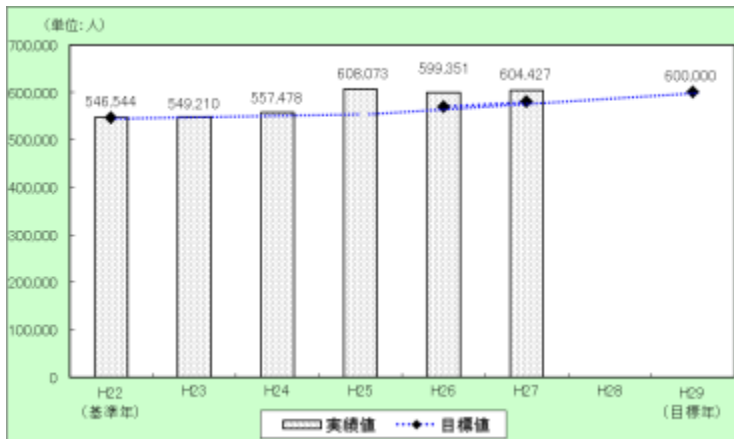


【伊那市（はびろ農業公園広場）の交流促進施設の整備】

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・山村等振興対策事業実施箇所数：2 か所（体験交流促進施設、農産物直売施設）

■達成指標項目 25：都市農村交流人口（地域振興課調べ）



農作業体験・学習旅行の誘致や、道の駅と併設された農産物直売施設の利用増加などにより、目標を上回る交流人口（604,427 人）の確保が図られた。

## ○ コミュニティ活動への都市住民等の参加促進

- 中山間地域農業直接支払事業により、都市児童の修学旅行や都市住民との交流促進のため、体験農園の整備、棚田オーナー制度の体制づくりを支援しました。
- 地域資源を活かした地域特産物の開発や都市住民との交流など、農村コミュニティの活性化への活動を支援しました。
- 都会に住む若い女性を対象に、農業女子を紹介したパンフレットの配布の他、農業女子と交流するフォーラムやバスツアー等を開催し、長野県の農業・農村の魅力を発信しました。



【棚田オーナー制度（田植え体験）】



【銀座 NAGANO での農業女子フォーラム】



【農業女子パンフレット】



【東京発！農業体験バスツアー】

### 〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・中山間地域農業直接支払事業実施状況：71 市町村 1,062 協定 9,222ha
- ・農村活力創出支援事業実施地区数：10 地区
- ・都会に住む若い女性を対象にしたイベント：4 回

### ＜今後の展開方向＞

- 中山間地域農業直接支払事業により、引き続き、中山間地域における農業生産活動等を支援します。
- 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、中山間地域の遊休農地の再生を進めます。
- 農家民宿、農家レストランなど、農業・農村が持つ地域資源と観光業を組み合わせた6次産業化の取組を支援します。
- 企画振興部等他部局と連携し、「長野県移住・交流戦略推進方針」及び「国際青少年交流農村宣言アクションプラン」の実現に向け、グリーンツーリズムの推進により都市農村交流人口の拡大を図ります。
- 農業女子のネットワークの拡大を図り、全県で共感し合う仲間との自主的な交流活動を促進します。
- 都会に住む若い女性に、長野県の農業・農村の魅力を発信し、移住や就農を促進します。
- 農山村地域の振興のため、地域農産物の販売や加工などを行う拠点となる施設等の整備を支援します。
- 都市農村交流を通じた農山村地域の振興を図るため、都市農村交流施設等の整備を支援します。

## (1) [施策展開4] 農村コミュニティの維持・構築

### イ 都市近郊地域等における農村コミュニティの強化

#### 【めざす平成29年の姿】

- ◇ 農業者は、住民との相互理解の上で農業生産活動を行うとともに、農産物直売所や学校給食などを通じ、地元で採れた農産物を多くの住民に供給しています。
- ◇ 住民は、そば打ちや農産物加工などの農村女性が持つ技術の体験・習得や、熟練農業者が栽培指導を行う市民農園の活用など、食や農業を介した交流の機会が増加し、農業生産の必要性を理解しています。
- ◇ 食の供給や景観の保全等を支える農業・農村への理解が進み、農地・農業用水路等を守る活動に非農家住民の参加が増えています。

#### <施策の取組状況>

##### ○ 食と農を介した農村コミュニティの強化

- 「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン推進委員会との連携により、「旬ちゃん」学校訪問の実施などにより、学校給食現場等への地元農産物の魅力発信と地産地消を推進しました。
- 子どもたちが農作業体験を通じて、「食」を大切に作る心や、自ら汗を流して働くことの大切さ、農作業の楽しさ等を学ぶ機会の提供を支援し、「食」への興味・関心を深めました。
- 日本型食生活の普及を図るため、食育活動を行う「食育ボランティア」の育成に努め、食育活動を推進しました。

#### [平成27年度の主な取組]

- ・「旬ちゃん」学校訪問：延べ6校（284名）
- ・子ども農業体験活動実施団体への活動支援：3団体
- ・地域における日本型食生活等の普及促進に取り組む団体等への支援：3団体

##### ○ 地域ぐるみで取り組む共同活動の推進

- 農地や農業用水路等の農村資源や農村環境を保全するため、多面的機能支払事業を活用し、水路の泥上げや補修、草花の植栽、農道への砂利補充など、地域ぐるみで行う共同活動を支援しました。

#### [平成27年度の主な取組]

- ・多面的機能支払事業（農地維持）の取組面積：761組織 31,789ha
- ・多面的機能支払事業（資源向上（長寿命化））の取組面積：406組織 22,730ha

#### <今後の展開方向>

##### 《食と農を介した農村コミュニティの強化》

- 農家民宿、農家レストランなど、農業・農村が持つ地域資源と観光資源を組み合わせた6次産業化の取組を支援します。

- 女性農業者団体による、郷土食講座や農作業体験などを通じた都市住民との交流の促進を支援します。
- 企画振興部と連携し、「長野県移住・交流戦略推進方針」及び「国際青少年交流農村宣言アクションプラン」実現に向けた都市農村交流人口の拡大を図ります。
- 学校給食現場等へ信州農畜産物の情報を提供し、地産地消を促進するとともに、学校訪問により食育を推進します。
- やすらぎ空間整備事業により、交流の拠点となる農業体験施設等の整備を支援します。

#### 《ふれあいの場づくり》

- 農産物の高付加価値化による所得の向上等を通じた農村地域の活性化を図るため、地域の特性を活かした多様な産業振興に係る活性化施設の整備を支援します。
- 女性農業者団体（農村生活マイスター協会、農村女性ネットワークながの）による、郷土食講座や農作業体験などを通じて、地域住民との交流活動を促進します。

#### 《地域ぐるみで取り組む共同活動の推進》

- 農地や農業用水路等の農村資源や農村環境を保全するため、多面的機能支払事業により、水路の泥上げ・補修、草花の植栽、農道の保全管理など、地域ぐるみで行う共同活動を支援します。
- 市町村や推進組織と連携し、一層の広報活動に取り組み、新たな共同活動組織の立ち上げを推進します。